幾何分布と指数分布

Geometric and Exponential Distribution

緑川章一

幾何分布

$$P(x) = pq^{x-1}, \quad p+q=1, \quad x=1,2,3,\cdots$$

幾何分布の連続極限としての指数分布

 $t=rac{x}{n}$ と置き、 $n o\infty$ の極限を考える。その時、

$$f(t) \Delta t = \frac{1}{n} f(t) = pq^{nt-1}$$

となる f(t) を求める。

$$p = 1 - q = 1 - r^{1/n}$$

だから、

$$\frac{1}{n}f(t) = \left(1 - r^{1/n}\right)r^{t-1/n} \tag{1}$$

$$= \left(r^{-1/n} - 1\right)r^t \tag{2}$$

ところで、 $r = \exp(\ln r)$ だから、

$$r^{-1/n} = e^{-\frac{\ln r}{n}} \approx 1 - \frac{\ln r}{n}$$

ゆえに、

$$f(t) = \lim_{n \to \infty} n \left(r^{-1/n} - 1 \right) r^t = -\ln r e^{t \ln r}$$

ここで、

$$\lambda = -\ln r$$

とおくと、

$$f(t) = \lambda e^{-\lambda t}$$

を得る。これは指数分布を表す。